

港区立南山小学校  
令和元年度 授業改善推進プラン

## 1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	区学力調査の結果、2、3、5年生は概ね区平均より高い観点が多い。一方、4、6年生においては、全観点が区平均より下回っている。2年生以上の多くの学年に共通の課題となるのは、「話すこと・聞くこと」、「言語についての知識・理解・技能」である。さらに、10ポイント近く低い「書く能力」（4年生、6年生）、「国語への関心・意欲・態度」（6年生）についても高めていけるように指導を工夫する。
社会	区学力調査の結果、4・5年生は平均正答率が目標値より高いが、6年生は目標値を僅かに下回っている。また、区平均と比較すると3学年とも下回っている。全学年共通して課題となるのは「社会的事象への関心・意欲・態度」、「観察・資料活用の技能」である。資料から情報を読み取って考察し、課題を解決していく活動を授業の中で多く取り入れ、技能の向上を図る。
算数	区学力調査の結果、2、3、4、5年生は区設定の目標値より高い。しかし、前年度よりも低下している項目がある。数学的な考え方（4年、6年）、技能（2年、4年、6年）である。また、6年生は、特に数学的な考え方において、前年度よりも10ポイント（65.5%→55.5%）低い。これらのことから、東京方式を取り入れながら、数学的な考え方を中心に、それに関連する部分である問題把握力、表現力、及び計算等の技能の向上を図る。
理科	区学力調査の結果、4、5、6年と全ての学年が、標準スコアより低い。6年生はどの観点でも前年度を9～11ポイント低くなっている。どの学年も共通して前年度より低くなっているところは、科学的な考え方・表現であり、校内研究で重点化し、児童に考えさせ、自分の考えを表出できるような活動を授業で多く取り入れ、表現力を向上を図る。

## 2 各教科の具体的な授業改善

国語	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話す力・聞く力の向上。</li> <li>・書く力の向上。</li> <li>・言語についての知識・理解・技能の向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループで、話型を意識して話したり、話の中心に気を付けて聞いたりする話し合い活動を工夫する。</li> <li>・書く相手や目的を明確にし、文章を書く活動を多く設定するとともに、友達が評価する時間（相互評価）を確保する。</li> <li>・語句の辞書的な意味や文脈的な意味が考えられるよう、語句や熟語を使った短文づくりなどを積極的に行う。</li> </ul>

社会	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・資料活用の技能の向上</li> <li>・課題を追求したり、解決したりする力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳や様々な具体的な種類の資料を読み取る活動を多く取り入れることで、情報を精選し、的確にまとめる力を養う。</li> <li>・単元ごとに課題を自ら設定させ、解決に向けてどのように調べ学習を行えばよいかを考える問題解決の活動を充実する。またより身近な社会的事象も授業の中で紹介する。それに対して必ず自分の意見をもてるよう、考える活動を展開する。</li> </ul>

算数	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題場面を的確につかむ力の向上（問題把握力）。</li> <li>・自力解決の過程を分かりやすく表現する力の獲得（表現力）。</li> <li>・計算の技能の定着。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題把握力については、より具体的に問題場面をとらえられるように具体物やICTを活用する。また、習熟度別に評価と支援の仕方を工夫する。</li> <li>・表現力については、自分の考えがもてるように図の表し方をいくつも例示し、支援する。</li> <li>・計算の技能については、習熟度別指導を生かし、コースごとに難易度や分量を指導者が事前に把握し、個に応じて出題する。</li> </ul>

理科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験に関する基本的な技能や知識の向上（知識・技能）</li> <li>・結果から得られたことから考えたり、まとめたりする力（表現力）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験を多く取り入れ、体験的な活動を通して、知識技能を身に付ける。また、観察、実験の過程や得られた結果を適切に記録し、予想と比べながら理解する。</li> <li>・観察や実験の差異や共通点を基に、問題を見い出したり、既習の内容や生活経験を基にしたりして考えることで、自分の考えを自分の言葉でまとめる。</li> </ul>

生活	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な環境や自分自身に関心を持ち、楽しく学習する力</li> <li>・具体的な活動や体験について自分なりに考えたり工夫したり、表現したりする力</li> <li>・自分を取り巻く社会、自然、自分自身のよさに気付く力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な活動や体験を多く設定し、関心と意欲につなげる。</li> <li>・自分の気付きや考えを表現できるように、表現方法をいくつか示し、自分に合った表現方法を選べるようにする。また、友達との関わりの中で、真似をしたり、アドバイスしあったりできるように活動を工夫する。</li> <li>・他教科との合科的・関連的な指導により、日々の生活の中からも課題意識をもち、活動や体験を通じて、自らの気付きを深められるようにする。</li> </ul>

音楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会の中の音楽と豊かに関わる力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽との一体感を味わうことができるように、音楽に合わせて歩いたり、動作をしたりするなどの体を動かす表現活動を取り入れる。</li> <li>・友達と音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図って交流し、共有したり共感したりする場面を意図的に設けるようにする。</li> </ul>

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現活動を通じて、見方や感じ方を広げる力（思考力・判断力・表現力）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材と指導計画を工夫することで、習得・活用・探究を繰り返すことができるようにする</li> <li>・学習過程を工夫することで、自分が、何ができるようになったのかを振り返り、確認できるようにする。</li> </ul>

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理・裁縫の基礎的な技能（技能）</li> <li>学んだことを活用して生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度（学びに向かう力・人間性等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題設定と指導計画を工夫し、基礎的・基本的な技能を習得し、生活での実践につなげる。</li> <li>学習過程を工夫することで、習得した知識及び技能を活用して身近な生活の課題を解決したり、家庭や地域で実践したりできるようにする。</li> </ul>

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動や健康についての自己の課題の解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力（思考力、判断力）</li> <li>健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度（学びに向かう人間性等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解決のための方法を児童が自ら思考し、選択できるような場を設定を工夫する</li> <li>自分の成果と課題を振り返ることができるよう学習カードを工夫し、評価と支援に生かす。</li> <li>発達の段階に応じて高める体力の重点化を図り、自己の体力や体の状態に応じて体力の高め方が理解できるよう活動を工夫する。</li> <li>習得した知識や技能を日常生活や行間体育で活用できるような学習内容を工夫する。</li> </ul>

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な英語を話したり聞き取ったりして、友達とすすんでやり取りをする力。（知識・技能）</li> <li>英語の表現や表情・身振りなどを活用して、積極的にコミュニケーションする力。（思考力・判断力・表現力等）</li> <li>外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重・表現しようとする態度（学びに向かう力・人間性等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶や授業の進め方や、教材、掲示物を統一し、児童が見通しをもてる学習展開を提示する。</li> <li>單元ごとに担任とNTが共通理解する授業プランシートを活用し、具体的なねらいをもとに、HRT（担任）を中心に、NTと協力した授業を展開する。</li> <li>友達とのコミュニケーション、スピーチ、プレゼンテーションなど、單元ごとの身に付ける力を明確にし、評価と支援に生かす。</li> <li>様々な国の挨拶や文化に触れ、それぞれの特徴や自国との違いに気付き、外国に関心をもてるようにする。</li> <li>学習の成果として、5・6年生は3学期にパーフェクトテストを実施し、進学進級へのさらなる意欲と成果への可視化を図る。</li> </ul>

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>主題について自分事として課題をとらえ、学んだことを生活に生かそうとする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の振り返りができるよう、道徳ノートやワークシートを活用しながら授業を進める。</li> <li>自分事として考えられるように、役割演技を取り入れたり、自分のしてきたことや考えたことと比べられたりする場面を設定する。</li> </ul>

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な他者の価値観や個性を受け入れ、助け合ったり協力し合ったりして、よりよい人間関係を築こうとする態度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の意義や目的を共有し、相手意識や目的意識をもって行動できるようにする。</li> <li>異学年による集団活動を意図的に展開し、リーダーシップやフォローシップを発揮する場面を設定する。</li> <li>上級生のよりよい姿を紹介し、なりたい自分の姿をイメージできるようにする。</li> </ul>

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究的な学習の課題を設定し、それらを解決するために必要な方法を選択して、追求していく力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や地域、自らの将来等、学年で身に付ける力を明確にし、実社会・実生活に生かせる指導計画を立てる。</li> <li>各教科で身に付けた学習内容を活用して課題を追究する方法の選択肢を広げ、問題解決能力の向上を図る。</li> </ul>